

## 一般社団法人日本映像アーキビスト協会 2022 年度事業計画書

### 1. 映像アーカイブに関する調査研究～

- 公式ホームページの充実とメッセージプラットフォームを用いた交流の試行
  - (1) 各研究会(分科会)⇒メッセージプラットフォームである Teams を活用し、各会員が自発的に各種研究会を発足、運営可能とすべく活動を行う。映画保存に関する技術的なノウハウやベストプラクティスについて共有を行う研究会や、日本における映画・映像保存法成立の可能性を考える勉強会、ノンフィルムに関する情報交換を行うコミュニティ等の発足を検討。
  - (2) オーラルヒストリー⇒本年度も当会もしくは会員が関わるイベント等の採録・公開を行う。また、映像アーカイブに携わる人々のオーラルヒストリーについては現在、対象者の検討を行っており、本年度から本格的にインタビューを始める。
  - (3) (3)「ヒアリングによる日本タイミング史」のプロジェクトの協力、協会ホームページへの掲載
  
- セミナー、ワークショップの企画と実施の検討
  - 会員(ないしは一般への公開の可能性を含めた)に対する設立後初のセミナーあるいはワークショップの開催を検討する。ただし、今年度もコロナ禍の影響が見通せないので、ウェビナーなど開催方法も併せて検討する。
  
- アーカイブ・ツーリズムの企画と実施の検討
  - 映像アーカイブ活動の現場や映像アーカイブと重要な関わりを持つ場所を視察し、活動に携わる映像アーキビストや関係者との交流を図るために、アーカイブ・ツーリズムの企画を検討する。本年度は、オンラインによるツアーの可能性も検討する。

### 2. 映像の文化的、芸術的、歴史的及び教育的価値に対する社会的認識ならびに関心の向上促進

- 基金設置を含めたファンドレイジングの方法の調査と検討
  - 当法人による基金設置を含め、映像アーカイブ活動の立ち上げと継続を支えるためのファンディングとして、公的支援やメセナ等の民間支援の可能性を検討するために、情報収集を行う。

### 3. 映像アーカイブ機関ならびに隣接機関との連携、協力

- 映画の復元と保存に関するワークショップ 2022(仮称)への協力

**4. 映像アーカイブ、及び映像アーキビストの認知向上を目指す広報活動**

- ホームページ、Twitter を活用し、映像アーカイブの重要性、映像アーキビストの社会的認知を図る。非会員に向けたイベント開催も模索

**5. 2022 年度定時総会の開催**

- 2022 年度定時総会を開催する。なお、今年度もコロナ禍の影響を考慮し、前年度に引き続き、オンラインによる総会開催の可能性を検討する。

以上